

29年度市老連地区会員数

| 地区名 | クラブ数 | 会員数 |
|------|------|-------|
| 豊科地区 | 11 | 853 |
| 穂高地区 | 22 | 1,583 |
| 三郷地区 | 8 | 872 |
| 堀金地区 | 4 | 281 |
| 明科地区 | 9 | 782 |
| 合 計 | 54 | 4,371 |



2012年10月15日創刊

発行所

安曇野市老人クラブ連合会
安曇野市社会福祉協議会内
〒399-9304 安曇野市豊科4160-1
TEL:0263-72-1871

発行者 山田高久
印刷所 山田高久
北辰印刷

第10号 2017(平成29)年8月5日発行

平成29年度の最大の課題は、①全国100万人会員増強4年次であり、②新地域支援事業の移行期による対応です。

①は今年と来年度にどれだけの奮起力が出せるかに掛かってきます。市老連の現況は皆さんのが努力もあって148人の増員がありました。これは休会クラブの復活も要因ですが、それぞれの単位クラブの努力もあってこそこの結果です。感謝するだいです。

県下の現状は、28年8万6386人に対し、29年8万473人で5913人の減です。内訳は45連合会が減員し、農村部の18連合会が増えていますが、減の主要な原因に諏訪市の1775人の脱会があり、運動全体の中では痛いことです。経緯からみて私たちの成果は評されるものです。

②新地域支援事業にどう関わってゆくのか。介護保険法の改正による取り組みが平成29年度末までとされています。進捗状況は推進母体となるケア会議が開かれておりますが、クラブ役員の参加は、一部であり全体会にはまだ広がっておりません。高齢者にとっては自分のことですがクラブ役員の負担増にならないように願っています。

平成29年度の最大の課題は、①全国100万人会員増強4年次であり、②新地域支援事業の移行期による対応です。

①は今年と来年度にどれだけの奮起力が出せるかに掛かってきます。市老連の現況は皆さんのが努力もあって148人の増員がありました。これは休会クラブの復活も要因ですが、それぞれの単位クラブの努力もあってこそこの結果です。感謝するだいです。

県下の現状は、28年8万6386人に対し、29年8万473人で5913人の減です。内訳は45連合会が減員し、農村部の18連合会が増えていますが、減の主要な原因に諏訪市の1775人の脱会があり、運動全体の中では痛いことです。経緯からみて私たちの成果は評されるものです。

②新地域支援事業にどう関わってゆくのか。介護保険法の改正による取り組みが平成29年度末までとされています。進捗状況は推進母体となるケア会議が開かれておりますが、クラブ役員の参加は、一部であり全体会にはまだ広がっておりません。高齢者にとっては自分のことですがクラブ役員の負担増にならないように願っています。

市老連の直面する課題

会長 山田 高久

市老連の増員は、「老人福祉法」[昭和38年施行]の第13条において「地方公共団体は、老人クラブその他、当該事業を行う者に対しても、適切な援助をするよう努めなければならぬ」と位置付けされています。市はこの法の精神を忠実に執行し、一人当たりの援助額もアップし、老人が元気になれば市も元気だと激励しあい、健康长寿の市づくりに取り組み、組織を強めるにはクラブ員の増加もしなければなりません。又、市老連事務局(社会福祉協議会)担当の支援協力がプラスに働いての増員の力ともなつております。

さらに仲間づくりを進めていきましょう。

人生の終わり方、

高齢者のつとめ

いま、世界や日本がかってない変化に遭遇しています。世界史の潮流は白人支配の終りをつけ、近隣三国は反日感情を深めています。中国の海洋進出、北朝鮮の核ミサイル、韓国の日本のプライドをそこなう従軍慰安婦問題。トランプ旋風、頻発するテロ等々、国内では改憲、護憲、少子高齢化又、想定外の災害など課題が

多々あります。私達は高齢化社会の一員であり、間近に人生の終焉を迎える老人クラブ活動を通じて自らの健康管理・友愛・奉仕の三大運動柱に取り組んでいますが、伝統文化の歴史は良かれ悪しかれ世に伝える義務があります。

保守の巨星と言われた渡部昇一先生が四月にお亡くなりになられ、死を惜しむ追悼会が開かれていました。

第二次世界大戦(大東亜戦争)では日本にも大義はありました。その一つが人種差別の問題。だからメディアも国民も支持したのに、戦後日本はこのことに触れていたと、教えられてきました。勿論、東京裁判でのたらめさ先の戦争は自衛のためと指摘していました。東京裁判の戦犯に立たされた、東條英機は侵略戦争ではなく、自尊自衛のための戦争だったと主張しています。この裁判を指導したマッカーサーは一九五〇年ウエーク島でトルーマンに「東京裁判」はあまりではありません、と報告し、翌年公式の場(アメリカの軍事外交委員会)で日本の戦争が侵略ではなく、自衛の戦争であったと報告しています。昭和天皇は遠因はアメリカ移民の問題にあり、近因は石油禁輸にあると申されました。(これら報道は未公表)



市老連作品展で激励に訪れる(右より村上副市長、宮澤市長)

いました。先生はどんな戦争にも大正しく、どちらが100%間違ったというのではないと貫して指摘されていました。

H.Q.の施策に東京裁判史観、自虐史観が全国に蔓延して、日本を貶めようとしています。私達は歴史の心真実を伝え、日本を貶める誤報に気づき、日本の清き美しさ、素晴らしいを子々孫々に伝えています。



誰もが生きがいをもって輝ける人生を!

NPO法人 JAあづみくらしの助け合いネットワークあんしん代表理事理事長

◀講演する池田陽子氏

安曇野市で活躍される老人クラブの総会でお話をさせていただき機会をいただき感謝申し上げます。

私たち『あんしん』は、住み慣れた地域・家で安心して暮らしがけたいという誰もが持つている願いを実現するため、『100歳まで農作業で達者が一番』を突破口に『あんしん』として暮らし続ける里をつくり続けたきました。

その出発点は私自身の「幸せに暮らし続けたい」という願いであります、そのため何ができるのかと心がけました。誰もがいまでも元気で過ごしたいと願っています。それには元気なときには生きがいづくりや地域づくりを、少し体が思うように動かなくなってきたら誰かの援助を受けながら自分でできる暮らしを続けます。困ったときにお互いに支

え合いながら、なだらかに新しい活動を楽しみたいと願っています。そんな心豊かな地域をつくるのは誰でもない地域の皆さん自身です。自らが主体的に小さな協同活動を積み重ねて活動することができる『あんしん』として暮らしの里』づくりですか。

平成14年に始まった『生き活き塾』ではその実践方法を学んでいました。塾で学習した家庭や地域で実践する、何でも実際にやってみないと楽しみも苦しみもわからなってしまう課題を見つかるのもかもしれません。そして、失敗でさえも家族の中では喜びとなり、生きがいとなつて積み重なつてきました。

そんな実践の中から、一人ひとりが自ら変わる努力をしてきました。学んで実践する、みんなの実践が新しい活動などの福祉活動は、平成27年からの行なっている『有償在宅サービス』や『移送サービス』へもついてきました。例えば、安曇野市の支援により『地域支え合いセンターあんしん』

族に贈られた体験を持ったみなさまに、野菜を少しずつ持ち寄りお裾分けの場『ふれあいの里』を実践、市安曇野五ヶ所村連盟』を実践、地域の人たちにも喜ばれています。その活動は、地域の子どもたちにも安全安心で美味しい野菜を食べてもらおうともしました。塾で学習した家庭や地域で実践する、何でも実際にやってみてみないと楽しみも苦しみもわからなってしまう課題を見つかるのもかもしれません。そして、失敗でさえも家族の中では喜びとなり、生きがいとなつて積み重なつてきました。

安曇野市内など27地区で毎月開催している『あんしん広場』や買い物の手助け『御用聞き車』『あんしん・呑』、平成10年から行なっている『有償在宅サービス』や『移送サービス』へもついてきました。例えば、安曇野市の支援により『地域支え合いセンターあんしん』



「あんしん」のメンバーによる健康体操

第1回 市役所ロビー作品展

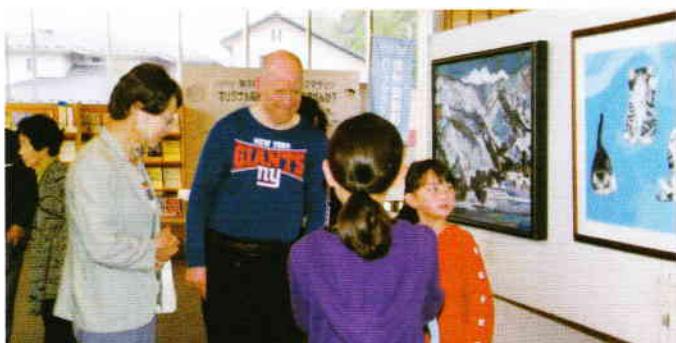
市役所1階のロビーを借用して、5月1日から5月15日の期間で市老連会員の作品展を開催しました。市行政のトップから「市民に親しまれる市庁舎として、市民交流の場を作りたい」という要請に応えたものです。元気な高齢者が、より元気に仲間作りや生きがい作りに参加して、市老連の活動の一助になればという事で、皆で力を合わせて企画・立案をしました。ご協力いただきました方々に心から感謝申し上げます。



会場をめぐる宮澤市長



テープカットに集まる会員



アメリカ人牧師が来場



中萱長寿会特別賞受賞花壇



作品を鑑賞する来場者の方々



見事な揮毫作品を鑑賞する来場者



様々な写真作品が並ぶ



心の癒しと会員交流の花壇作り

会員の相互の親睦

信頼を深めるクラブ活動

健康で心

健康で心のふれあいを大切に

豊里しやくなげクラブ 矢野 清己
花いっぱい運動で美しい里づ
くりと心の癒しに会員全員が花
つくりに頑張っています。
豊里の皆さんに美しい花で心
の癒しと少しでも交流のお手伝
いができるたらいいなと思つてい
ます。

耳塚老人クラブ 小林司

当クラブの主な活動は
①花いっぱい運動に参加

②毎月一回 宮城にある老人保健センター

会員の高齢化する中、気持ちの若返りと健康のこと、脳のトレーニングと親睦を兼ねたお茶と会話、また公民館で楽しくカラオケで歌い、これから的人生を語り合いながら和気藹々のひと時です。

会員の外出の機会作り。お互いいの日頃の支え合いそして外に出ることで気分転換と健康・寿命延伸と会話交流で日帰り小旅行を楽しんでいます。

②毎月一回 宮城にある老人保健センター

③年二回 一泊二日の研修旅行

④北小児童クラブとの交流会
花壇作りは自分たちで花の種を蒔き育苗し、水くれ管理は一人組になり九月迄毎年行っています。老人保健センターでは、時には保健師さんに来て頂き血圧測定をして軽い健康体操など楽しく行っています。北小児童クラブとは十四回目の交流会を



北小児童クラブから贈られた品々

老人クラブ再興に国民の努力

健康維持と会員増強

橋爪シニア倶楽部 市田 愛一郎
橋爪には天神会と称する老人クラブが15年前に消滅。穗高23区の中でも模範的な会で会員も100名でした。区総会で老人

ケラブ再興の声が上がり、平成27年4月橋爪シニア俱楽部を発足。テーマは「健康で充実した

柏原常念ヶテア 牧田 正経
毎月一回いきいきサロンと
歌謡教室にカラオケに健康体操
などしております。また春は柏
原地区育成会主催の春の祭に
ボランティアとしてお手伝いを
したり、世代交流会に参加。
花壇の植栽と肥培管理、物故

富田平和会 耳塚光治
今年度のクラブ活動計画の中では、親水公園、神社の花作りを中心に、春・秋マレットゴルフ大会、福祉施設へのボランティア、田植えのあとに青田祝、春秋の研修旅行、神社内の清掃などが主な活動です。



地区納涼祭を挙げる会員達



研修旅行
上越鶴の湯温泉にて

クラブの行事には会員以外の人にでも参加してもらいたいと思います。全員が楽しく元気な活動したいと思います。

タラ組織拡大について

信頼を深めるクラブ活動



月一回の例会で楽しい交流



盆踊りの練習に励む会員



子供達のマスクつかみ取り大会を行った手作りの池

ます。
えれるような
地域づくり
の先頭に長
寿会は立ち
たいと思
います。



春・秋の清掃奉仕作業

会の属する桜友区は平成14年発足でその5年後に桜友会は立上がりました。当初12名の会員は4倍となり、今年4月10回目の総会を行いました。

毎月一回の例会を中心に、健康マージャン、マレットゴルフ、スポーツ吹矢、氣功の4クラブと共に、自治会、育成会行事にも協力参加し、世代間交流に努め、毎月の会報を会員以外の高齢者にも届け、次回の予定、行事報告を行い参加を呼びかけています。

会員は多くなりましたが、参加の少ない例会もあり、10年を経てマンネリになつていると反省し、新しい企画や意見を求め、多数が楽しく参加できることを目指します。

これは復活された地域文化を復活地域文化を伝承してきた保存会の事業をみやび会が引き継いだものですが、踊ることは脳活と適度な運動になり、地区的盆踊り大会への参加と市老連の芸能発表大会への出演を目標に、七日市場踊りの会の指導のもと練習に励んでいます。

今年もこの池を利用して各種イベントを企画し、区民の憩いの場、ふれあいの場にと考えております。

洋服がビショビショに濡れるのもかまわず夢中になってマスクつかみ、親子でその場で焼いて食べ大変好評でした。

会の事業としては、伝承されると春季秋季の例大祭前の清掃奉仕事業、公民館等の花壇管理と緑化木植樹、仲間作りの親睦旅行、各種団体との共催事業として健康教室、ふれあい広場、納涼祭参加、そば打ち体験、注連縄作り等です。

前号で紹介のあつた明科地域のオール明科マレット大会も健康管理上、是非成功させ続けていきたいと思っています。

地域の活性化は「物づくり」ではなく、「人づくり」と思っています。そこに住んでいる人達が、また増やさずに気長に取り組んでいます。



高野辰之記念館前にて

新たなる活動を目指して

ミニアサロン桜友会 藤田 孝

会の属する桜友区は平成14年上りました。当初12名の会員は4倍となり、今年4月10回目の総会を行いました。

毎月一回の例会を中心、健

健康長寿と豊かな地域作り

七日市場みやび会 松尾 森良

七日市場みやび会は、会員相互の親睦、健康長寿、社会奉仕を目的としてマレットゴルフ大会、親睦旅行、公園の清掃、講演会の開催、いきいきサロンの運営への参画等の事業を行っていますが、特色ある事業として安曇盆歌の伝承があります。

世代を超えて交流できる場を設けたいという話から、昨年公館裏の公園の一部に手作りで池を作り、地区の子供達を迎えてマスのつかみ取り大会を開催しました。大勢の子供が集まり、洋服がビショビショに濡れるのもかまわず夢中になってマスクをつかみ、親子でその場で焼いて食べ大変好評でした。

会の事業としては、伝承される春季秋季の例大祭前の清掃奉仕事業、公民館等の花壇管理と緑化木植樹、仲間作りの親睦旅行、各種団体との共催事業として健康教室、ふれあい広場、納涼祭参加、そば打ち体験、注連縄作り等です。

前号で紹介のあつた明科地域のオール明科マレット大会も健康管理上、是非成功させ続けていきたいと思っています。

手作りの池を作つて

岩原豊葦会 田口 勝二

岩原豊葦会は、改組して足掛け三年を迎え、七十余名の会員が活動をしています。若返つたため発想も変化してきています。

世代を超えて交流できる場を設けたいという話から、昨年公園裏の公園の一部に手作りで池を作り、地区の子供達を迎えてマスのつかみ取り大会を開催しました。大勢の子供が集まり、洋服がビショビショに濡れるのもかまわず夢中になってマスクをつかみ、親子でその場で焼いて食べ大変好評でした。

地域活性化は人づくり

下押野長寿会 矢花 正一

古厩老人クラブ親睦会 吉田 満男

私達のクラブは会員85名で構成されています。最近はどこの会員が減少傾向にあり、私達の会でも高齢化に伴う事象と最近の定年制の延長により現役続投の期間が長くなり、若年者が平日の行事不参加のため加入が敬遠されているのが実情です。

会の事業としては、伝承される春季秋季の例大祭前の清掃奉仕事業、公民館等の花壇管理と緑化木植樹、仲間作りの親睦旅行、各種団体との共催事業として健康教室、ふれあい広場、納涼祭参加、そば打ち体験、注連縄作り等です。

気負わずに前進

女性指導者研修会

勝山
孝子



大町サンアルプスで司会する勝山さん

7月5日九州地方が豪雨に見舞われている最中、大町市に於いて中信地区女性指導者研修会が開催されました。

午前中は理学療法士・中村崇先生による「音楽療法の実際」と題しての講演でした。開会式の中で、歓迎の挨拶が大幅に延びたことで先生の講演時間が少なくなってしまった残念でした。

前評判通りユーモアに富み、決して飽きさせない話術に私達はすっかり魅了されました。樂しく歌い、体操をし、認知症予防の極意を理解しました。

午後は活動事例発表と実技講習「牛乳パックで作るブローチ」でした。ブローチの部品作りはボンド付け部分の乾く時間が必

要の為、先にそこまで作る作業を行いましたが、これがなかなか大変な作業でした。その部品が完成したことを確認して活動事例発表となりました。

一例目は辰野町社協職員による辰野町老人クラブの健康運動教室の実態についてのお話です、パワーポイントを使い、分かり易い説明でした。二例目は大町南原町年長者会の発表です。3世代交流事業など積極的な活動をされていますが、最近できたバイパス道路により地域が分断されてしまいその対策に苦慮しているそうです。両クラブとも会員の減少に頭を悩ませているようでした。特に男性会員の減少は深刻な問題です。



ブローチ作り



29年度の市老連主催の「樂々太極拳教室」が、明科支部をトツプに6月2日から毎週金曜日の午前9時30分から総合福祉センター「あいりす」で始まりました。全5回延べ130人の会員の参加がありました。

6月16日には、安曇野市保健医療部介護保健課の太田あつこさんによる、口腔ミニ講座があり、特に高齢者には「食べる」中で注意することは「しっかりと噛む」「安全に飲み込む」ことの大切さと、健口体操の指導では、日常生活の中で、運動で足腰を鍛えるように、口の環境もトレーニングで改善し、咬む・飲む・飲

み込む機能の向上を図り、唾液分泌の促進と誤嚥防止に努めてほしいと講義されました。

太極拳は中国に古来より伝わる伝統的な武術で、その歴史は古く、起源は数千年前に遡ると

太極拳教室　—明科支部から—

血行を良くし、転倒予防に

骨折によるものであり、「体の柔軟性」や「姿勢の安定感」を高める運動として太極拳は転倒予

り、硬拳」と太極拳に代表される「柔拳」の2つに大別され

ます。太極拳は「精」「氣」「神」

を修練する拳だといいます。

中国武術は少林拳に代表され

る「硬拳」、太極拳は「柔拳」で

あります。太極拳の基本は「呼吸」であり、「呼吸」の基本は「息を吐い



太極拳で身体をほぐす会員



口腔ミニ講座

て吸う」事で、太極拳でいう「呼吸自然」「身正体鬆」と言つて意識して体の中心(自分の重心を置く)にして体を曲げたり伸ばしたり良くするための健康法です。

私達高齢者にとって、介護が必要となる原因の1割が、転倒予

て安定させ更に肩の力を抜いて体を緩める「沈肩垂肘」「含胸拔背」が太極拳の極意だそうです。

了しました。
帰路、高瀬川の増水を目の当たりにし、九州の大雨の惨状に想いを馳せ、「他人事ではないね」と話題が車中にありました。



音楽療法の実技講習

平成29年度 安曇野市老人クラブ連合会
金婚祝いとダイヤモンド婚祝
 金婚祝 36組 / ダイヤモンド婚祝 22組のみなさん

| 金 婚 | | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|--|--|--|
| 豊科 | 千野 安照 | 千野 満子 | 上小路仁志 | 上小路照江 | | | |
| | 宮本 幸雄 | 宮本あや子 | 宮澤 弘昭 | 宮澤 治子 | | | |
| | 中澤 弘 | 中澤 友子 | 増田 忠秋 | 増田 裕世 | | | |
| | 斎藤 泰洋 | 斎藤 茂子 | 望月 裕明 | 望月 啓子 | | | |
| | 土屋 健治 | 土屋 昂子 | 丸山 徳康 | 丸山 玲子 | | | |
| | 藤田 輝邦 | 藤田 和子 | 白坂 昌博 | 白坂みのり | | | |
| | 臼井 久夫 | 臼井 幾子 | 坂井 省三 | 坂井佳江子 | | | |
| | 平林 茂寿 | 平林日出子 | 西村 充登 | 西村けい子 | | | |
| 穂高 | 白澤 忠雄 | 白澤ふみ子 | 関 功 | 関 重子 | | | |
| | 宮沢 正二 | 宮沢 要子 | 丸山 正人 | 丸山美和子 | | | |
| 三郷 | 荻原 隆 | 荻原由美子 | 丸山 貞夫 | 丸山 捷代 | | | |
| | 古屋固四郎 | 古屋 文江 | 宮澤 博明 | 宮澤美知子 | | | |
| | 藤澤 靖雄 | 藤澤可つ子 | 塙田 和好 | 塙田みよ子 | | | |
| | 山田 和雄 | 山田みゆき | 松岡 城史 | 松岡五百子 | | | |
| | 丸山 貢康 | 丸山 政子 | 上條 博志 | 上條 武子 | | | |
| | 小松 三雄 | 小松くに子 | 那須野雅譽 | 那須野隆子 | | | |
| | 横山 昌隆 | 横山 豊子 | | | | | |
| 堀金 | 堀内 一男 | 堀内登喜子 | 牛越 千廣 | 牛越 京子 | | | |
| | 宮澤 拓二 | 宮澤可津子 | | | | | |

「驚異への愛慕心」、「空にきらめく(星辰)」、「その輝きにも似たる事物や思想に対する欽仰」、「小児の如く求めてやまぬ探求」、「人生への歓喜と興味」。

年は七十であろうと十六であろうとその胸中に抱き得るもののは何か。いかわく

がく。年を重ねただけで人は老いながらも理想を失う時に初めて老いがくる。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしほむ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を捨てる冒険心。こういう様相を青春と言うのだ

| 中略 |

| ダイヤモンド婚 | | | | | | | |
|---------|-------|--------|--|--|--|--|--|
| | 平林 勇 | 平林 百子 | | | | | |
| 豊科 | 有賀 元彦 | 有賀 安子 | | | | | |
| | 等々力茂保 | 等々力八千代 | | | | | |
| | 細井 誉雄 | 細井 孝子 | | | | | |
| | 上田 富作 | 上田 重子 | | | | | |
| 穂高 | 飯吉 和夫 | 飯吉ケサ子 | | | | | |
| | 内川 高好 | 内川 徳子 | | | | | |
| | 金森 大武 | 金森加代子 | | | | | |
| | 浅川 一幸 | 浅川 伸子 | | | | | |
| | 白澤 清一 | 白澤まちへ | | | | | |
| 三郷 | 荒井 知 | 荒井 せつ | | | | | |
| | 矢ノ口光向 | 矢ノ口茂美 | | | | | |
| | 平田 進彬 | 平田まさ江 | | | | | |
| | 中田一二三 | 中田ふさ子 | | | | | |
| | 宮下 廣雄 | 宮下喜久子 | | | | | |
| 堀金 | 一志 和恵 | 一志 和江 | | | | | |
| | 横山 幸久 | 横山 政子 | | | | | |
| | 唐沢 安重 | 唐沢久美子 | | | | | |
| 明科 | 小林 栄一 | 小林美寿子 | | | | | |
| | 矢花 文雄 | 矢花 妙子 | | | | | |
| | 山崎 實 | 山崎津田子 | | | | | |
| | 田中 淳郎 | 田中 薫 | | | | | |

平成29年度 市老連一般会計予算

【収入】

| 款項目 | 予算額 | 備考 |
|---------------|-----------|-------------|
| 会員会費 | 1,092,750 | 250円×4,371人 |
| 助成金 | 7,688,500 | |
| 市助成金 | 6,895,500 | |
| 単位クラブ及び会員補助金 | 4,303,500 | クラブ助成、活動費 |
| 本部事業及び特別事業補助金 | 2,592,000 | 本部助成、特別事業 |
| 社協補助金 | 793,000 | 赤い羽根共同募金 |
| 雑収入 | 1,154 | 預金利子他、県老連助成 |
| 繰越金 | 240,596 | |
| 計 | 9,023,000 | |

【支出】

| 款項目 | 予算額 | 備考 |
|----------------------|-----------|------------------------|
| 会議費 | 265,000 | |
| 総会費 | 30,000 | |
| 役員費 | 220,000 | |
| 監査会費 | 15,000 | |
| 事務費 | 70,000 | |
| 消耗品費 | 30,000 | |
| 印刷製本費 | 15,000 | |
| 通信運搬費 | 25,000 | |
| 事業費 | 4,250,000 | |
| 巾老連事業費 | 3,240,000 | |
| 研修費 | 80,000 | |
| 県大会参加費 | 190,000 | |
| 金婚慶祝費 | 120,000 | |
| 表彰費 | 50,000 | |
| スポーツ大会費 | 90,000 | |
| 県老連負担金 | 390,000 | 1人当たり87円 |
| 会員以外の参加促進費 | 70,000 | |
| 広報発行費 | 240,000 | |
| 特別事業費 地域モデルの活動促進費 | 2,010,000 | 花いっぱい、芸能・作品、太極拳、生きがい教室 |
| 支部事業費 | 1,010,000 | |
| 諸支出金 | 71,000 | |
| 交際費 | 20,000 | |
| 慶弔費 | 26,000 | |
| 雜費 | 25,000 | |
| 助成費(単位会活動補助) | 4,303,500 | |
| 予備費 | 63,500 | |
| 特別事業費 | 0 | 記念誌発行事業 |
| 計 | 9,023,000 | |

【収入】 9,023,000円 【支出】 9,023,000円 【差引金額】 0円

平成29年度 市老連事業計画

| 日程 | 事業内容 | 場所 |
|-----------|---------------------------------------|--------------------|
| 6~11月 | 樂々太極拳教室 | 市内一円 |
| 8~9月 | 金婚・ダイヤモンド婚祝い事業 | |
| 8月22日 | 花いっぱいコンクール審査 | 市内一円 |
| 9月12日 | 生涯スポーツ交流大会 | 信州スカイパーク 松本広域公園 |
| 10月24日 | 市老連マレットゴルフ大会(予備日25日) | 豊科水辺 マレットゴルフ場 |
| 10月26日 | 第58回長野県老人クラブ大会 | 駒ヶ根市 |
| 11月23~25日 | 市老連作品展 | 豊科公民館 |
| 11月25日 | 市老連芸能大会 | 豊科公民館 |
| 2月 | 市老連生きがい講座 | |
| 2月末 | 会報「あづみ野の風」11号発行 | |
| 通年 | 各支部・単位クラブによる「健康づくり活動」「友愛活動」「地域支え合い活動」 | 市内一円 |

文芸俳句

若葉萌ゆ 赤き鳥居の屋敷神
立ち並び 杉鉢育つ 雪を聴き
朝市の 山落の山 幅利かし
新緑や 安曇太鼓の ばら捌き
黒鯛の まなこ澄みたる 活き造り
三郷中萱長寿会 小林 清次

市老連花壇づくり 県民会議より表彰

6月15日、長野市生涯学習セ

ンターにおいて、環境保全など

に取り組む87団体で組織する
「信州豊かな環境づくり県民会
議」の表彰式が行われ、7団体
が表彰されました。

中信地区からは3団体(安曇

野市老人クラブ連合会、木曽御
嶽奉仕団、松川村歩こう会)が
表彰されました。

我が市老連の表彰は、長年に
わたって花壇を通じて環境美化
に貢献したことが認められたも
ので、単位クラブが取り組まれた
全体花壇についての表彰です。
皆さんと共にこの栄誉を喜び
たいと思います。

人事

老連の役員が代わりました。

● 安曇野市老連
市関係者 穂高支部 藤田常三郎さん
から澤柳伸さんになり、本部
副会長兼文化部長 勝山孝子
若宮昭三 再任
女性委員 山田文明 退任
広報部委員 藤岡嘉 再任
市老連事務局(社会福祉協議会) 平成29年4月より野口典子
さんから久保田優子さんに代わりました。

編集後記

九州北部地方の豪雨は、気象
庁が今まで経験したことのない
大雨だと発表しました。昨年
の地震に次いで豪雨の被害と度
重なる九州地方、東北地方の皆
様方にお見舞い申し上げます。

松本平や安曇野の河川の水一
切を擁して、犀川の濁流は流域
いっぱいに荒れ狂うようにし
環境づくりに努められました
その功績は誠に顕著であります
ので記念品を贈り表彰します
平成二十九年六月十五日
信州豊かな環境づくり県民会議
会長 鶴飼照喜

は荒れた状態のなかでの事でした
が最近の水害は、自然環境の影
響があると言われています。つまり
世界的な関連でエルニーニョ現
象によるという説が定着しており
ます。文化が発展すれば、新しい
悩みが生まれてきます。先進国の
責任は重いものがあります。
▼本号で金婚・ダイヤモンド
婚の方々のお名前を掲載しまし
た。お二人が健康で過ごされて
來た証であります。おめでとう
ございます。暑さ厳しき折、會員
皆様のご自愛を祈念します。